

職員の時間外手当などの増額を決定

復旧復興業務の増加に対応

12月議会定例会は12月10日から13日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、「歳計剰余金を処分するための町債(借金)の期限前返済をする補正予算」や「消防団員の定年延長」の条例改正など12議案が提出され、すべて原案どおり可決、決定されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をたどりました。



笑顔がはじけるクリスマス会(ももたん広場)

平成25年度一般会計
補正予算(第4号)の主な内容

【歳出の主な事業】

- ・歳計剰余金処分のための町債(借金)の期限前返済 1億1154万円
- ・小坂消防屯所の建設費用 1200万円
- ・観月台公園の遊具入れ替え費用 1019万円
- ・子ども・子育て支援法に係るシステム導入、計画策定調査費 870万円
- ・藤田保育所の屋内遊具などの整備費用 220万円
- ・ふくしま林業再生事業 (貝田地区の間伐、森林再生計画策定) 527万円
- ・松くい虫防除事業 260万円
- ・職員の時間外勤務手当 666万円
- ・県北中学校の部活動補助 284万円

【主な財源】

- ・国・県からの補助金 3310万円
- ・前年度からの繰越金 3722万円
- ・災害廃棄物処理事業過年度精算金 7126万円

町債(借金)の残高

会計名	25年3月31日現在	26年3月31日見込
一般会計	51億875万円	54億9137万円

平成25年度補正予算

平成25年度補正予算は、一般会計(第4号)が提出

され、1億9645万円を増額し、予算総額を104億4239万円とすることになった。

観月台公園の遊具入れ替えに1019万円

主な増額は、復旧復興業務の増加による職員時間外手当に666万円、歳計剰余金を処分するための町債(借金)の期限前返済に1億1154万円、小坂消防屯所建設に1200万円など合計1億9645万円です。

※歳計剰余金とは
前年度の収入額から支出額を差し引いた残額。その半分以上を基金(貯金)に積みか繰上償還(借金の期限前返済)に使わなければならない。



質疑

業務負担の片寄りは

問

(浅野富男議員)

時間外勤務が特定の部署や職員に集中していないか。

総務課長

復旧復興のため、仮置き場や除染事業、町づくりや交流の場の推進対策事業、風評被害対策や義経まつり、イルミネーションの元気活力事業

の担当部署でかなりの業務量が増えている。

人員不足への対応は

問

(浅野富男議員)

復興に向け職員を増やしたと聞かすが、時間外勤務や人員不足の中で今後の町政をどう進めるのか。

町長

正職員、臨時職員など20人程度を増員し、全職員一体で取り組んでいるが、足りていない。職員は大変な状況で業務を行っているため、県や国に

職員や予算増を要望している。今後もオール役場で取り組み。

業務過多で健康

管理は

問

(村上晴夫議員)

業務過多による健康面が心配される。職員の健康管理が必要ではないか。

町長

常に体調管理に気をつけるよう話をしている。精神的な部分が重要で、毎日必ず全職員に声をかけ、コミュニケーションを図るよう心掛けていく。

26年度予算では

改善を

問

(村上晴夫議員)

25年度の超過勤務手当の補正増額を反省し、26年度当初予算で適正な予算に改善すべき。

町長

職員の確保や事業成果の検証を進め、各課の業務量や職員の適正

配置、超過勤務手当などを当初予算に反映したい。

車両借受の経緯と

配置は

問

(渡辺勝弘議員)

小型ポンプ車の無償借り受けの経緯とその配置場所は。

住民生活課長

消防団から要望を受け、消防庁が決定したもの。維持管理の諸経費は町負担となる。

小型ポンプ車は第1分団(小坂)に、それ以外の救命ボートやテント、投光器などは第3分団(森江野)に設置予定。



12月12日、3.11大震災復興対策特別委員会で、除去土壌の搬入が進む大枝方部仮置き場を現地調査(西大枝字元寺地内)